

（寄稿）

得意な仕事に集中する

～役割機能別業務体制による医療人材マネジメントの提案～

〈 まえがき 〉

本稿は、2012年1月30日発行のNo.12-01「精神科救急に特化した医療機関～先を見据えた経営戦略～」の続編であり、成仁病院における人材マネジメントに焦点を当てている。

成仁病院は、民間の精神科単科病院（東京都足立区・114床）であり、2007年の開設と同時に、著者の精神科医師としての長年の人間観察に基づき、病院に深く根差す人材問題を克服すべく「役割機能別業務体制」という取組みを始めた。

「役割機能別業務体制」は、万能主義から脱却し、業務を細分化したうえで職員の能力や気質に基づいて、その役割が得意な職員に再配分するというシステムを指す。これは、本人に選択する裁量や権利を与えつつも、各人が担う業務を狭く・深く掘り下げることによって専門性を保ち、質の高いサービスに結びつけることに特長がある。

医療機関経営者にとっては、いわゆるスーパーマンを求めない組織を形成することで、属人性を排除して、一代限りではない永続する組織を創造できる点が強調すべきポイントであろう。医療機関の永続は、地域住民が安心して適正な医療を享受できる状態を意味する。

単科病院という意味では、看護師をはじめとする人材マネジメントについて複数診療科を持する総合病院と単純比較することは適当ではないかもしれないが、この冊子が組織のあり方や各人の働き方を考える端緒になれば幸いである。

2012年7月25日

Healthcare note

(No. 12-10)

寄稿者名：
医療法人社団成仁
理事長・院長
片山 成仁

編集主幹
野村ヘルスケア・
サポート&アドバイザー
河添 麻美

野村證券株式会社
金融公共公益法人部